

平成20年度釧路支庁「地域政策推進事業」予定事業一覧

(単位：千円)

事業名	事業概要	予算額	備考
道東湿原域ワイズコース推進事業	<p>(目的) ラムサール条約登録湿地を始めとした釧路地方の豊かな自然環境を体験型観光資源として活用を図るとともに、自然環境の賢明な利用(ワイズコース)の実現に向けた地域ルール形成を誘導し、自然環境保全と地域振興とを推進する。H19年度に引き続き新たな検討テーマを定めて事業を実施し、より効果的な事業展開を図る。</p> <p>(課題) ワークショップの開催、報告書作成</p>	2,508	継続 (H19~)
体験観光くしろ地域加速連携型ステップアップ推進事業	<p>(目的) 釧路地域の比較優位性の高い恵まれた自然環境を生かした「体験観光」を魅力ある旅行素材に磨き上げ、周遊型の観光客誘致促進を進めるとともに、滞在型観光を促進し域内消費を促進することにより、「釧路らしさ」を全面に打ち出す「体験観光くしろ」のステップアップを図り、もって観光産業の地域への経済波及効果向上を目指す。</p> <p>(課題) 体験観光事業者向けワークショップの開催、モデル事業の実施、ビジネスマッチング商談会の開催、旅行商品化支援強化会議の開催</p>	1,827	継続 (H19~)
エゾシカ資源有効活用事業	<p>(目的) エゾシカ肉の地域消費の向上と供給の拡大を図るため、エゾシカ肉の安全な生産体制の確保・有効活用の検討・エゾシカ肉供給に係る情報提供等の取組みを推進する。</p> <p>(課題) 有効活用地域意見交換会の開催、エゾシカ肉料理研究会の開催、エゾシカ講座(衛生管理講習会)の開催、エゾシカお楽しみマップ</p>	633	新規 (H20~)
くしろの食と観光の連携推進事業	<p>(目的) 地元食材の利用拡大を核とした食の魅力アップにより、観光客の満足度を向上させることで、観光客の誘致促進や地域内での消費拡大を図るとともに、地元食産業と観光産業の連携を推進することで観光による地域経済への波及効果向上を目指す。 (農務課、水産課、林務課、商工労働観光課共同事業)</p> <p>(課題) 定期的な地元食材情報の提供、観光施設での地元食材調達の仕組みづくりの協議、誘致促進に向けた地元食材メニューPR活動 (PRパンフレットの作成、旅行情報誌広告掲載)</p>	1,420	継続 (H18~)
地域が支えるくしろ農業推進事業	<p>(目的) 道内でも特に冷涼で美しい自然に恵まれた釧路で育まれた農産物は、安全・安心で高品質であり実需者から高い評価を受けているものの、生産基盤が脆弱なことなどから生産の減退や消滅が危惧されている。このため、くしろ農産物を地域の財産としてとらえ、地域が応援する「くしろ農業応援団」の結成と併せ、生産の共同化など生産体制の強化により地域が農業を支える仕組みを構築し、管内農業の維持・発展を図る。</p> <p>(課題) 生産者と消費者等との意見交換会の開催、小学校との連携による食育の推進</p>	519	継続 (H19~)
合計	5事業(新規1、継続4)	6,907	参考 H19予算額 9,486